

南丹教育局ニュース 第120号

なんたん子育てミニフォーラム

(「京のまなび教室」指導者等研修会)

平成 27 年 1 月 16 日 (金)

会場：南丹市日吉町生涯学習センター

参加者：98 名

地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進するために、「京のまなび教室」をはじめとする放課後・週末対策事業の指導者養成と、子育て支援ネットワークの構築をめざして研修会を実施しました。人とのつながりをつくる“ことばの力”や、子どもとの接し方等について、参加者同士で学び合いました。

研修 ① 読み語り体験～はじめの一步～



絵本を楽しむ～分かち合い 繋がり合う～

絵本は「読んでやる」ものではなく、いっしょに楽しむものである。その楽しさの積み重ねは、子どもにとっても大人にとっても一生の宝物となる。(『絵本論-この豊かな世界』より)

参加者の感想

- ・絵本の読み聞かせて、ゆったりした気持ちになりました。絵本を通して、「こころ」を伝えていきたいと思います。
- ・読み方を変える(気持ちを入れる)ことで、いく通りも想像の世界が広がっていくことを実感しました。
- ・絵本は、「聞かせる」のではなく、一緒に楽しむことが大切だと改めて教えていただきました。

①



講師：読み語りボランティア

内山 三枝子 氏

- ◇基本はゆっくり、丁寧に読む。* 1冊丸ごと！
- ◇作品を信頼し、誠実に心を込めて読む。

研修 ② ほめ上手を目指すあなたへ (講演&実践編)

“叱ること”は容易でも、“ほめること”は難しいものです。ここでは、子どもたちの「お困り行動」を具体的に提示しながら“ほめ方やコミュニケーションの方法”をみんなで考え練習しました。



『ほめ方のポイント』・「子どもと同じ視線で、近づいて」「感情を込めて」「25%でまず 1 回、やり終えたらもう 1 回」「何が良かったかを具体的に伝える」「一貫した対応を」* 子どもの良い行動が見られたら、すぐに、行動をほめること！



講師：南丹保健所

医務主幹 全 有耳 氏

参加者の感想

- ・ほめて育てることが大事なことはわかっていながら、日々、反省してばかりです。子どもの目線に立ち、小さなことも肯定し、じっくり待ったり理解することが必要です。子どもの特性を理解し、ほめられる嬉しさを実感させながら、他者をほめられる子に育ててほしいです。
- ・子どもの気持ちや親の言葉が、どう聞こえてくるかを体験することで、相手(子ども)の心情について考えることができました。